

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 054	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 浸透移行性のあるハクサイダニの防除薬剤の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年、当部所轄のコまつナ、ハウレンソウ、ハクサイ、レタス、大山菜などで、収穫期におけるハクサイダニの被害や出荷物への混入が問題となっており、結球部の内側に侵入した場合、現状登録のある薬剤（アディオオン、コテツ）では防除ができていない。 現在のところ、夏場の太陽熱消毒による抑制や、ハクサイダニが表面で活動を始める夕方の散布等の工夫、野菜類登録のあるデンプン系の薬剤などの散布を指導しているが、畑の余剰がないことや、発生が予測できず収穫時期になって問題となっていることが多い。 そこで、簡便な処理で抑制できる技術や、収穫前日数が少なく浸透移行性のある薬剤の検索及び、登録拡大に向けた検討をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病害虫研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	現在のところ、他県の情報として、夏季の太陽熱消毒による発生抑制あるいはほ場周辺の除草・作物残渣等の片付けが有効との報告がありますので、今後とも他県で取り組まれている最新状況について随時情報提供します。 なお、ハクサイダニに対する有効薬剤については、農薬メーカーが他県にて日本植物防疫協会を通じて新農薬実用化試験を委託していますので、登録の進行状況については情報提供します。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			